

SSKS

VOL.130

結の実通信130号

特定非営利活動法人結の実

ご挨拶

理事長 小林 輝彦

前回の結の実通信発行のあった7月以降、新型コロナウイルス陽性者や濃厚接触者の自宅待機期間が短縮されるなど、要件が緩和される中、感染者数は増加傾向にあるようです。結の実関係者の中からも何名か感染者が出て、そのたびに対応に追われる日々が続きました。私自身濃厚接触者になり、自宅待機をしております。結の実に勤務を始めてからこんなに長期間休んだことはなく、なんとなく落ち着かない気持ちになりました。この通信を読んでもらっている会員や関係者の皆様の中にも、該当者がいらっしゃると思います。謹んでお見舞い申し上げます。

上記の通り目の前の対応に追われる一方で、もう少し長期的な視点で取り組んでいるのが、新型コロナウイルス BCP の作成です。ご存じの方も多と思いますが、BCP とは Business Continuity Plan の頭文字を取った言葉で、「事業継続計画」「業務継続計画」などと訳されます。新型コロナウイルス感染者発生時に被害を最小限に抑え、事業を継続、早期復旧させる計画となります。障害福祉施設においては2024年度から策定が義務化されています。今は経過措置

期間ですが、結の実では2022年度中の作成を目指して現在準備中です。

作成に関してはゼロからのスタートではなく、外枠の見本となる東京都の用意した雛形があり、それを活用しています。しかし内容に関しては雛形にはほとんど記入がなく悪戦苦闘の日々です。それなりに見えるものはすぐにできそうですが、実際にまな・ゆいで緊急事態が起きた時にそれが役に立つのか・・・と考えるとまだまだと思います。

形式的に整えるだけでなく、実際に入居者の皆様やご家族、現場で働く職員が困らないものを作ろうと、役員、職員で相談しながら作成、修正を続けています。例えば365日ホームを利用し、帰る場所のない入居者が新型コロナウイルス陽性者になった場合、リスクを承知の上で誰かが支援を継続しなければいけない現実があります。その時に、法人としてどのようなサポートをしていくのか、業務の優先度を判断してどのように事業を継続していくのか。入居者の生活を守りながら職員のケアもしていく難しさを感じている毎日です。

中期事業計画の目標の一つには「職員の働きやすい環境整備」があります。職員が働きやすい環境を作るには、評価制度の見直しや待遇改善だけでなく、職員が安心して働くことができる環境作りが大切だと感じています。しかし、リスクを承知の上で支援しなければいけない状況で、安心して働ける状況が作れるのか・・・職員皆さん事情がある中で難しいテーマです。

そのような中で大切なのは、一人一人の声を聞いていくことだと思います。何を不安に思っているのか、どうすれば改善できるのか、私自身まだまだ聞く力が不足していますが、職員が安心して働ける環境を作れるように、それが入居者の安心して生活できる環境作りにもつながるように、様々な声を聞いて、そして聞くだけでなく実現できるようにしていくつもりです。まずは、より良いBCP作成を目指して皆さんの声を聞いていこうと思います。

法人目的

結の実は地域の障害がある人々や子どもたち、高齢者などに対して、必要とする福祉サービス等を提供し、社会的・経済的自立を支援するとともに、社会参加促進に関する事業を行い、障害の種類・程度に関わらず、すべての人々がゆたかに暮らせる地域社会づくりと福祉の増進に寄与することを目的としています。

グループホーム運営方針

- ① 障がいの程度にかかわらず、入居者が健康で自立した生活が営めるように支援を行なう。
- ② 入居者の個性を理解し、それぞれの入居者が今まで営んできた生活環境を尊重した支援を行なう。
- ③ 入居者の人権を擁護し、就労や社会参加等充実した社会生活が送れるように、関係施設や地域と連携していく。

法人沿革

- 1988年9月 課外グループ「生活ホーム結」設立
- 1991年4月 通所訓練の場「通所施設・結」開所
- 1994年7月 宿泊訓練「生活ホーム・結」開始
- 2001年9月 「特定非営利活動法人 結の実」認可
- 2004年4月 男性ホーム「ホーム・まな」を開所
- 2008年3月 女性ホーム「ホーム・ゆい」を開所

「ゆいボーリング大会」

7月17日ゆいの余暇活動としてボーリング大会を開催しました。新型コロナの影響もあり、ホーム内でペットボトルをボーリングのピンとし、廊下に並べリビングからボールを転がしました。

ゆいの利用者の方にとっては久しぶりのボーリングとなったため、初めはなかなかピンを倒すことが難しい様子でしたが、だんだんと倒せるようになり大盛り上がりのボーリング大会となりました。

距離が近いと、時々小言の言い合いをすることもある利用者さんも、この時間だけは近くで声を合わせて応援しました。「頑張って」「今度は倒すんだよ」「やったー！」「次は倒せるよ」の声援とピンが倒れると大きな拍手が聞こえます。

生活の中ではなかなか見られないみんなの真剣な顔や、普段は笑顔をあまり見せてくれない利用者さんの笑顔も見られました。

終わった後には「またボーリングをやりたい。」「ピンをたくさん倒したんだよ。」と嬉しそうに話していました。



グループホーム等連絡会主催「町田市との懇談会」参加報告

町田市には、知的障がい者グループホーム等連絡会という団体があり、結の実は、幹事ホームとして関わっています。11月29日グループホーム等連絡会主催で、町田市役所障がい福祉課の職員の方々との懇談会が開催されました。今回はその参加報告を行いたいと思います。

当日は、町田市内にあるせりがや会館に、直接来た参加者、ZOOMでの参加者合わせて12団体18名のグループホーム関係者が集まり、熱心に話し合いに参加していました。障がい福祉課の職員から、「町田市障がい者プラン21-26」の説明があり、その後意見交換を行っています。

町田市内にはたくさんのグループホームがあり、特徴もそれぞれ違います。しかし、その中でも入居者の高齢化や重度化への対応など、共通して多くのホームで課題となっていたテーマがありました。現在町田市にはホームの数自体は目標数値以上にあるようですが、重度の方に対応したホームはまだ、足りていないそうです。結の实としても取り組んでいく必要があるテーマであり、改めて考える機会となりました。



3回目となるホーム職員紹介。今回は、ゆい非常勤職員の佐藤晶子さんです。

はじめまして。佐藤晶子と申します。いつかまた障害のある方を支える仕事ができたらと思い、縁あってゆいで働かせていただくことになり、あっという間に2年が経ちました。週一日、5時間ほどという短い時間の勤務で、仕事を覚えるのにとっても時間がかかりましたが、入居者の方々は優しく、助けられながら楽しく働かせていただいています。

10年以上前になりますが、以前は大規模な施設で働いていました。入所者の方々は障害が重い方が多く、強度行動障害の方もたくさんいらっしゃって、心身ともにとてもハードでしたが、皆さん愛らしくやりがいのある仕事でした。働き始めた頃は“地域移行”がまだまだこれからという時代で、グループホームの設立に向けて取り組んだりしていましたが、ゆいで家庭的な穏やかな暮らしを見ることができ、時代の変化を感じとてもうれしく思いました。それでもたまたま施設での事件のニュースを見たりすると、日本の福祉はまだまだだと思わされます。

実は私には何年も学校に行っていない小学生の息子がいます。発達障害で吃音もあり、外での人とのコミュニケーションが難しいのです。二人で過ごす毎日はストレスがたまりがちで、私にとってゆいで入居者の方々と接することは、生活の張りにもなり癒しともなっています。今不登校やひきこもりはどんどん増えているようですが、違いを受け入れにくい社会が要因なのではないでしょうか。将来どんな人でも生きやすい社会になるよう願っていますし、自分も努力しなければと思います。

家ではというと、コロナ禍になり実に30年ぶりにピアノを習い始めました。家事放棄で日々練習に励んでいます。大人になって学ぶことは楽しいですよ。これからのものんびりいろんなことにチャレンジしていきたいと思っています。こんなマイペースの私ではありますが、今後ともよろしく願いいたします。

寄付 3名 （2022年7月11日～2022年12月5日）

明滝光子 成沢超子 藤田浩子

2022年度 更新会員 59名 （2022年7月11日～2022年12月5日）

明滝光子 石川薫 石川紀子 小島恵見 東本浩二 東本眞知子
山田都 カトー保険事務所

2022年度 新規会員 2名 （2022年7月11日～2022年12月5日）

（順不同・敬称略）

☆ご支援まことにありがとうございました☆



特定非営利活動法人結の実の法人理念や事業運営方針の趣旨にご賛同いただき、ご支援して下さる方々の入会及び寄付をお願い申し上げます。

年会費 2000円

郵便振替口座 00110-2-355729

口座名義

特定非営利活動法人結の実

- * 郵便振替用紙に、お名前・住所・電話番号・〇〇年度会費として、のご記入をお願いします。
- * 入会時期に関わらず、会員資格は年度ごとの更新となります。

事務局からのお知らせ

- ☆ 2022年度第2回理事会が2022年8月27日に開催されました。
- ① 新型コロナウイルスBCP（事業継続計画）について
 - ② ホーム・まな新規入居者募集について
 - ③ ホームページ作成における業務委託契約の締結について
- ☆2022年度第1回結の実虐待防止委員会、身体拘束適正化委員会が、2022年8月27日理事会開催前の時間帯に開催されました。
- ☆ 2022年度第3回理事会（臨時理事会）が2022年10月19日に開催されました。
- ① ホーム・まな新規入居希望者の入居承認について
- ☆ 2022年11月26日開催予定だった2022年度第4回理事会は、ホーム入居者コロナ感染に伴う影響から、延期となりました。1月開催予定の理事会で11月分の内容も報告・討議行う予定です。
- ☆ 結の実ホームページに関して、現在閲覧ができない状況が続いています。早急な改善を行うために、第2回理事会で承認された新たな事業者と打ち合わせを行い、リニューアル作業を行っているところです。再開までもう少しお待ち下さい。

結の実通信 130号

『編集』 特定非営利活動法人結の実 事務局

〒194-0046 東京都町田市西成瀬 1-39-13

TEL/FAX : 042-725-8693

E-mail : yuinomi@star.ocn.ne.jp

ホームページ <http://yuinomi.com>

『発行』 特定非営利活動法人 障害者団体定期刊行物協会

〒157-0072 東京都世田谷区祖師谷 3-1-17 ヴェルドゥーラ祖師谷 102号室

TEL : 03-6277-9611 FAX : 03-6277-9555 定価 50円